花の白虎隊（1954）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1954/08/25

【解説】
「山椒大夫」の八尋不二によるオリジナル脚本を「関の弥太ッペ」の田坂勝彦が監督した歴史劇。時代の波に翻弄され、悲壮な決意で戦地へ赴き散っていった白虎隊の悲劇を描く。歌舞伎の市川雷蔵と長唄の勝新太郎がスクリーンデビューを果たした。
明治元年、薩長を中心とする連合軍が会津国境へ押し寄せてきていた。会津藩の篠原準之助は池上仙吉の妹である百合と婚約していたが、兄の戦死に突き動かされ白虎隊への参加を決意する。進撃を続ける連合軍が領内に入り込んだことから、十五歳以上の男性に出陣命令が下った。銃弾が飛び交う中、百合との仮祝言を済ませた準之助は仙吉とともに戦地へ赴き、城の無事を告げる鐘を鳴らし続けるのだったが…。

【クレジット】
監督 田坂勝彦
脚本 八尋不二
撮影 牧田行正
出演 市川雷蔵
勝新太郎
花柳武治
三田隆
黒川弥太郎
阿井三千子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.